

# 鹿児島県立夜間中学設置 基本計画

令和6年2月

鹿児島県教育委員会

## < 目 次 >

### I 県立夜間中学の設置に向けた基本方針

- 1 目指す学校の姿 . . . . . 1
- 2 学校づくりの視点 . . . . . 1

### II 県立夜間中学の枠組み

- 1 設置場所 . . . . . 1
- 2 開校時期 . . . . . 2
- 3 対象生徒 . . . . . 2
- 4 学校体制 . . . . . 2
- 5 教育課程等 . . . . . 2
- 6 修業 . . . . . 3
- 7 費用 . . . . . 4
- 8 通学 . . . . . 4
- 9 部活動 . . . . . 4
- 10 食事 . . . . . 4
- 11 教員研修 . . . . . 4
- 12 関係機関との連携 . . . . . 4

## I 県立夜間中学の設置に向けた基本方針

### 1 目指す学校の姿

一人一人の思いを大切にし、いきいきと学べる学校

### 2 学校づくりの視点

#### (1) 多様性の尊重

様々な年齢，異なる国籍や文化等の生徒が集う夜間中学において，生徒が共に活動する中で，互いを理解し，認め合い，安心して学べるようにする。

#### (2) 生徒理解に基づいた指導の充実

学習状況や交友関係，進学・就職等，個々の学校生活の状況やニーズについて，日頃から把握に努め，全教職員で共通理解した上で，生徒に寄り添いながら対応できるようにする。

#### (3) 「学びたい」という意欲の継続・向上

個々の生徒の実態に応じた学習内容や多様な指導方法を工夫，改善しながら，主体的に学ぼうとする意欲が継続・向上できるようにする。

#### (4) 学ぶことの意義の発信

夢や思いを達成するために向上心をもってチャレンジする生徒の姿を発信し，県民が夜間中学に対する理解を深められるようにする。

## II 県立夜間中学の枠組み

### 1 設置場所

鹿児島県立開陽高等学校 敷地内（鹿児島市西谷山一丁目2番1号）



- ・ JR 谷山駅から徒歩で約 15 分
- ・ JR 慈眼寺駅から徒歩で約 15 分
- ・ 谷山インターチェンジから車で約 6 分

## 2 開校時期

令和7年4月

## 3 対象生徒

鹿児島県内に居住し、以下のいずれかに該当する方

- ・ 様々な理由で義務教育を修了せずに学齢期を経過した方
- ・ 不登校などで十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方
- ・ 本国または日本の義務教育を受けられなかった外国籍の方

## 4 学校体制

### (1) 生徒数

入学希望者の多様なニーズに対応するため、1学年の人数は12人程度、全校生徒36人程度とする。

### (2) 学級編制

1学年1学級、3学年とする。

### (3) 教職員

- ・ 校長、教頭、教諭等については、生徒数に応じて教職員を配置する。スクールカウンセラーのほか、必要に応じて日本語指導担当教員や特別支援教育支援員などを配置し、生徒の学校生活を支える体制を整える。
- ・ 生徒指導担当を中心に、卒業後に進学や就職などを目指している生徒への指導を行う。

## 5 教育課程等

中学校学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、生徒の学びの状況に応じた特別の教育課程を編成する。

### (1) 授業時数

- ・ 1年間の総授業時数を700時間程度とする。
- ・ 学び直しや進学のニーズもあることから、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の時間数を多く設定し、その他の教科は、時数を調整した上で、授業内容を工夫して実施する。

### (2) 日課表

- ・ 月曜日から金曜日まで、1単位時間当たり40分間の授業を1日4単位時間行う。
- ・ 1週間当たり20単位時間とする。
- ・ 登校時刻：17時30分頃
- ・ 下校時刻：21時頃

### <日課表のイメージ>

校時	時刻	時間
(給)	(16:45~17:25)	
HR	17:25~17:35	10分
1	17:35~18:15	40分
準備・移動		10分
2	18:25~19:05	40分
準備・移動		10分
3	19:15~19:55	40分
準備・移動		10分
4	20:05~20:45	40分
HR	20:45~20:55	10分

### (3) 学期及び長期休業等

前期・後期の2学期制とし、夏季休業等の長期休業も設定する。

### (4) 授業の実施方法

- ・ 対面による授業を基本とし、生徒の実態に応じて、個別最適な学びや協働的な学びを取り入れた授業を実施する。
- ・ 学年間の交流が深められる時間や単元においては、3学年合同で授業を行う。
- ・ 生徒の実態によっては、コース別による授業も検討する。また、日本語による会話や読み書きができない方、小学校段階の学習内容が必要な方については、個別に指導を行っていく。このために、教科担当の教員だけでなく、複数の教員等で指導する体制づくりに取り組む。

### (5) ICTを活用した教育

- ・ 1人1台学習用端末を整備し、学習状況に応じた個別学習や協働学習において活用できるようにする。
- ・ 出席できなかった生徒に対する学習機会を保障するため、オンライン（ライブ配信・アーカイブ配信）の活用を図る。

## 6 修業

### (1) 修業年限

3年を基本とするが、1単位時間の授業時間が40分間、1年間の総授業時数が700時間であることを考慮し、最長6年まで在籍を可能とする。

### (2) 入学

#### ア 入学説明会等

入学説明会において、入学希望者に対して、目指す学校の姿や具体的な内容及び夜間中学の入学対象について丁寧に説明を行う。また、夜間中学における授業イメージがもてるように体験授業等を行う。

#### イ 学年

入学者の学習履歴や希望等に応じて、2年生や3年生からの入学も可能とする。

#### ウ 時期

原則、4月からの入学とする。入学希望者との面接及び体験入学は随時実施し、4月以降の年度途中の入学については今後検討する。

#### エ 入学判断

生徒募集要項に基づき、県教育委員会職員による面接を実施し、入学希望者の就学状況、入学希望理由等について聞き取りを行い、入学の可否等を判断する。

### (3) 進級・卒業

生徒との面談や平素の学習状況等を踏まえ、校長が総合的に判断する。

#### (4) 休学

病気その他やむを得ない理由により、一定期間通学が困難な状況が発生した場合は、学校と相談の上、休学を可能とする。

### 7 費用

- ・ 授業料は無償とし、教科書についても無償で配布する。
- ・ 学用品や学校行事等などに係る実費については自己負担とする。

### 8 通学

#### (1) 区域

鹿児島県内全ての市町村を通学区域とする。

#### (2) 方法

公共交通機関のほか、車、バイク、自転車での通学を可能とする。

### 9 部活動

生徒のニーズに応じて部活動等の開設を検討する。

### 10 食事

学校給食は実施しない。但し、希望する生徒については、開陽高校の定時制で提供している食事を摂ることができるようにする。

### 11 教員研修

- ・ 授業力向上、生徒指導及び教育相談等に係る研修を年間計画に位置付け、計画的に実施するとともに、他県の先行事例等の情報を積極的に収集し、指導の充実・改善を図る。
- ・ 全教員が特別なニーズに応じた指導や日本語指導を行うことができるよう研修を行う。

### 12 関係機関との連携

- ・ 夜間運営や学習指導、生徒指導に関するノウハウを得るため、鹿児島県立開陽高等学校との連携を図る。
- ・ 鹿児島県立開陽高等学校や他県の夜間中学の生徒相互が交流できる行事の実施などを検討し、互いのカリキュラムの充実を図る。
- ・ 不登校経験者や外国籍の方などの学校生活を支援するため、市町村教育委員会や近隣の中学校のほか、様々な関係機関・関係者と連携を図る。